



2018年 国際OPクラス規則 改訂 解説

赤字は変更箇所、青字は説明。

3.2.6 Fittings

3.2.6.1 The following fittings are permitted:

- (a) 2 Mainsheet blocks (excluding those on the boom; **each with a maximum of 2 sheaves**) shall be attached to the hull inner bottom. The centre of their fixing points shall be at 786 +/- 5 and 894 +/- 5 from the forward face of the aft transom.
- (b) One ratchet block for the mainsheet.
- (c) 2 toe-straps and 4 associated fixing plates of 50 +/- 10mm x 20 +/- 5mm x 2 +/- 1mm if metal or 50 +/- 10mm x 20 +/- 5mm x 7 mm +/- 3 mm if plastic. (see also CR3.2.6.2 and CR 3.2.7.3) Up to three pieces of cord or elastic cord may be used to lift the toe-straps off the hull shell floor.
- (d) A compass and associated fixings, which shall all be removable for weighing the hull. **A compass may include a timing device. No electronic devices, other than those required at permitted by an Organizing Authority and/or IODA in the Notice of Race and/or Sailing instructions, shall be permitted on board when racing.**

3.5.3.8 The method of attachment of the mainsheet or mainsheet block(s) to the boom is optional (provided they cannot slip along the boom, and the maximum clearance between the span and the boom shall be not more than 100 mm, at any position along the boom). The position of the blocks or the length of boom stops shall not be adjusted while racing. **Provided they cannot slip along the span, the use of multiple rings on the span is permitted. Each block shall not have more than 2 sheaves.**

4.3 The following equipment shall be on board while racing:

- (a) One or more bailers which shall **each** be **individually and** securely attached to the hull by a lanyard(s) or elastic cord(s). One bailer shall have a minimum capacity of one litre.



写真は イメージを伝えるために作図されたものです。

3.2.6 艀装品

3.2.6.1 次の艀装品は許される:

- (a) メインシート・ブロック2個 (ブームのものは除く; **各滑車は最大2連**) はハルの内側底面に取り付けること。それらの固定位置の中心はスターン・トランサムの前より 786±5 と 894±5 とする。
- (b) メインシート用の ラatchet・ブロック1個。
- (c) フットベルト2本と その付随固定プレート4個 その寸法は、金属ならば 50±10mm× 20±5mm×2±1mm またはプラスチックならば 50±10mm×20±5mm×7mm +/-3mm とする。(規則3.2.6.2 および規則3.2.7.3も参照) フットベルトをハル床から持ち上げるために コードまたは 弾性コードを3本まで使用してもよい。
- (d) 1個のコンパス およびその付随固定部品。ハル重量計測時には すべて取り外せること。1個のコンパスは **時計装置を含んでも良い。電子機器は、レース中に掲示された、開催機関 および (または) IODA により、レース公示 および (または) 帆走指示書にて許可されたものであること。**

コンパスにカウントダウン機能が含まれても良くなった。改訂前の記述が削除・簡略化され、詳述はレース公示、帆走指示書にて掲示された内容となった。

3.5.3.8 ブームにメインシートまたはメインシート・ブロック(複数)をとる方法は任意である。(ブームに沿って移動できないものとし、張り索とブームの最大隙間はブームに沿ってどの位置でも100mm以内) ブロックの位置やブームストラップの長さはレース中に調節してはならない。それらは張り索に沿って移動できないと言う条件で、張り索上の多数のリングの使用は許される。各ブロックの滑車は2連以内とする。

強風時のブームブロック追加について内容がより詳しく記述された。

4.3 次の装備を、レース中艇に積むこと:

- (a) 1個以上のベイラーを **それぞれ単独に** ラニヤード(複数)または弾性コード(複数)でハルにしっかり取り付けること。
1個のベイラーは最低1リットルの容量があること。

これまでは左の写真のように2個のベイラーをハルのセンターケースとミッドフレームの空間を通して結べばハルから離れないので、OKと解釈されたが、実際には1箇所の結びが解かれれば2個ともハルから離れるので安全上で好ましくない。
1個以上のベイラーを積むことは、もしも1個ははずれても残り1個は残るので安全上有利となり、沈起こし後にベイラーを流失する危険を回避する狙いの「それぞれ単独に」が追加された。

2018年 国際 O P クラス規則 削除文 解説

取り消し線の部分は 本年度に削除されました。

クラス規則の改訂には 内容の変更、新しく追加、された場合には赤字で表示されますが、削除だけの場合があります。普通この削除された文章は本文に表示されないの で うっかりすると見過ごされる可能性があります。

2.5.4

All GRP hulls shall comply with the current rules or the rules current at the time the boat was first measured and registered with the National Authority as the bona fide property of a current Optimist sailor or his family, ~~(with no family being permitted to register more than two Optimists per sailor)~~ or a sailing club/school recognised by the national authority or national Optimist association. GRP hulls first so measured and registered between 1 March 1995 and 1 March 1996 shall conform either to the Class Rules in force from 1 March 1994 or to the Class Rules in force from 1 March 1995. Hulls first so measured and registered after 1 March 1996 shall conform to the class rules then current. Fittings, spars, sails and other equipment shall comply with the current rules, unless otherwise stated in the specific class rule referring to such equipment.

2.5.4

すべてのGRPハルは 現行規則 または艇が 最初の計測 および 国内連盟に登録された時点の規則に従うこと。その時点とは 現役OPセーラー またはその家族 ~~(ただし1家族がセーラー1名に対しOP2艇までしか登録することはできない。)~~ または国内連盟や国内クラス協会に認可されたセーリングクラブ/スクールの 善意な所有物として登録された時である。1995年3月1日~1996年3月1日 の間に最初の計測 および登録された GRPハルは1994年3月1日より有効となったクラス規則または1995年3月1日より有効となったクラス規則のいずれかに 適合すること。1996年3月1日以降に 最初の計測および登録されたハルはその時点の クラス規則に適合すること。 艀装品、スパー、セール および その他の装備は 現行規則に従うこと。 ただし その装備に関係する特定のクラス規則に述べられているものは除く。

日本OP協会の登録業務では 削除された内容について これまで 忠実に実行してきましたが 本年度より規制しなくなります。

- 意味：
- ① OPクラスの 基本理念は 『若い人達のために 低コストで レースを提供する』 であります。
 - ② 欧米を中心とするヨットの管理方法は 基本的に オーナー主義でした。クラス発足後 20年近くは 木造艇を自作して登録、その後もFRPの自艇を個人的に購入して大会に参加する事が 主流でした。
 - ③ 経済的に余裕のあるオーナーは 常に新艇を揃える事が可能ですが、それは①の理念に反するので 今回削除された規則が当時は有効と考えられていました。

時代の変遷：

IODA (国際OP協会) 加盟国は 今では118カ国に登り、IODA大会はヨーロッパが開催地となる 以外では 参加艇は全艇が 強制チャーターです。(ヨーロッパは 地続きであるために車載移動が可能・また特例として香港の アジア オセアニアでは ヨーロッパ圏 以外で 自艇による参加ができました) また艇の登録管理は オーナーからクラブ・団体が主流となりました。

IODA 年度総会 2017：

昨年のタイ世界選手権にて開催された 年度総会にて 一言 「 家族内の1選手 2艇まで登録可能との規則は削除された 」 と報告がありました。